

グループサイコセラピストへの道
グループサイコセラピスト申請～取得 FAQ

キャンディデイトの方が、グループサイコセラピストを申請・取得される際に、よくされる質問を集めてみました。参考にしてください。

Q1. 学会が主催する研修会以外で、自主的な事例検討会もしくは勉強会を開いて、研修実績の「事例検討及び講義」に加算するためにはどのような条件があるのでしょうか？

A. キャンディデイトなど学会員が運営する自主的な勉強会でも、認定スーパーバイザーが責任をもって直接研修指導した場合、そのセッションの時間は研修時間への加算対象になります。認定スーパーバイザーにサイン入りの研修証明書を発行してもらったり、「研修記録用紙」にサインをもらったりしてください。

Q2. 研修証明書には決められた書式がありますか？

A. 特にありませんが、研修会名、参加者名、研修日、「事例検討」「体験グループ」の区分、時間数（計算法はQ3を参照のこと）、認定スーパーバイザー名およびサインは、必ず記載されている必要があります。

Q3. 事例検討・講義の研修時間のカウント方法を教えてください。

A. 例えば、開催時間が3時間の事例検討会であれば、事例提供者は「事例検討3時間」となります。一般参加者は、その3分の1の「事例検討1時間」です。また、事例検討が2時間の場合は、それぞれ2時間、0.66時間です。

「講義」の時間数は、認定スーパーバイザーが責任をもって指導した、“グループ体験や事例検討等を含む研修での講義”を加算対象とします。座学のみ講義研修は対象外となります。実際の講義の時間の3分の1、開催時間1時間の講義であれば「講義0.33時間」でカウントされます。

Q4. キャンディデイトがグループサイコセラピスト認定の申請に必要な体験グループや事例検討のスーパーバイザーとは？

A. “学会認定”のスーパーバイザーを指しています。研修を受けた時点で、その認定スーパーバイザーがスーパーバイザー名簿に載っていれば、そのサインは有効となります。スーパーバイザーの認定が失効することもありますので、名簿が更新された際には必ずご確認ください。毎年1月1日と7月1日に更新されます。

Q5. スーパービジョンの受け方について教えてください。

A. グループサイコセラピストに認定されるためには、自らがコンダクター等を務めたグループ経験について、一定期間指導を受けることが必要です。また、1人の認定スーパーバイザーに偏ることなく、複数の認定スーパーバイザーの指導を受けることも重要となります。個人スーパービジョンとグループでのスーパービジョンの両方の経験があることも望ましいです。以上の点については、グループサイコセ

ラピストの申請・取得の際に、地区委員と審査委員も注目しています。

Q6. キャンディデイトがグループサイコセラピスト認定を申請する際に受ける面接は、誰から受けたらよいですか？

A. 地区委員であるスーパーバイザー、または地区委員から依頼されたスーパーバイザーの面接を受けて申請してください。スーパーバイザー名簿をご参照ください。お住いの地区在住の地区委員に限りません。居住地以外で面接を行っている地区委員もいます。誰に面接を受けたらよいか判らない場合は、教育研修委員会までご相談ください。なお、この時の面接に関する料金はかかりません。

Q7. 住んでいる地域では、思うように研修を受けたり、スーパービジョンや面接を受けたりすることができません。

A. 教育研修委員会ではみなさんの研修をサポートしています。お困りのことがあれば、遠慮なくお問い合わせください。各種の情報提供やご相談を承っています。

Q8. キャンディデイトへの登録要件の1つとされている、教育研修委員会が主催する研修会には、何が該当しますか？また、当該研修会には、オンライン開催のものも含まれますか？

A. 学会主催研修会（通常秋に開催）、プレコンgres、年次学術大会の基礎講座、の3研修会が該当します。オンライン開催の研修会も含まれます（その場合は参加証明のため画面に顔を映しての参加が必要です）。